

## 地球温暖化対策（緩和策と適応策）に関する県民意識アンケート調査結果

アンケート期間：令和元年9月27日～10月15日（19日間）

調査目的：平成25年（2013年）4月に策定した「長崎県地球温暖化対策実行計画」を今年度（2019年度）から来年度（2020年度）までの2年間をかけて見直すこととしていることから、地球温暖化に関する県民の意識などを把握し、新たな計画（2021年度～）に反映することを目的に実施する。

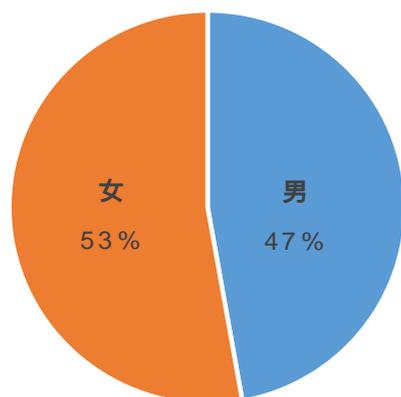
調査対象：ながさきWEB県政アンケート全モニター 338名

回答状況：回答者 305名（回答率 90.2%）

調査担当課：環境部環境政策課

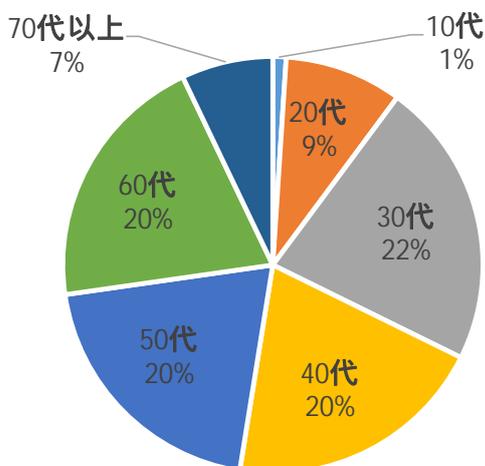
小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

### 回答者の属性



男女構成割合

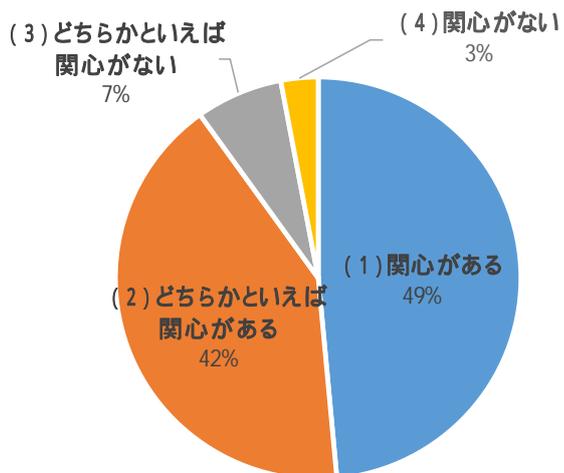
区分	人数	構成割合 (%)
男	144	47
女	161	53
合計	305	100



年齢区分別構成割合

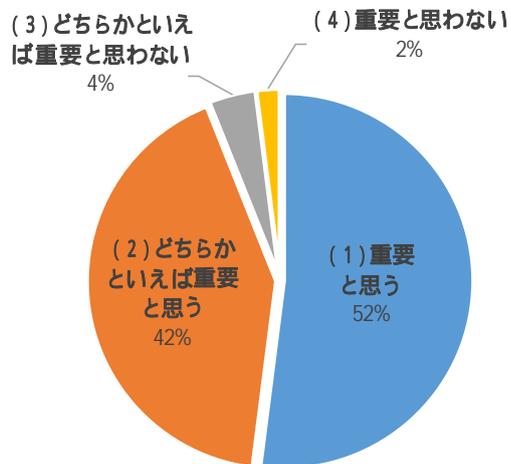
年齢区分	人数	構成割合 (%)
10代	3	1
20代	28	9
30代	66	22
40代	62	20
50代	62	20
60代	62	20
70代以上	22	7
合計	305	99

Q1. あなたは、地球温暖化対策について関心がありますか。(1つ選択)



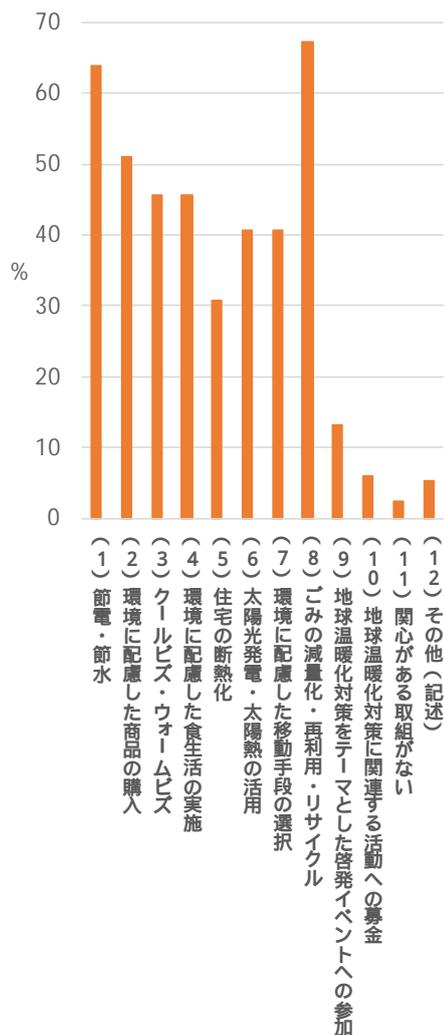
選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 関心がある	148	49
(2) どちらかといえば関心がある	127	42
(3) どちらかといえば関心がない	22	7
(4) 関心がない	8	3
合計	305	101

Q2. あなたは、他の環境問題と比べて、地球温暖化対策が重要だと思いますか。(1つ選択)  
(他の環境問題：大気環境問題、水環境問題、自然環境、生物多様性保全など)



選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 重要と思う	159	52
(2) どちらかといえば重要と思う	129	42
(3) どちらかといえば重要と思わない	12	4
(4) 重要と思わない	5	2
合計	305	100

Q3. あなたは、地球温暖化対策として、どのような取組に関心がありますか。(複数選択可)

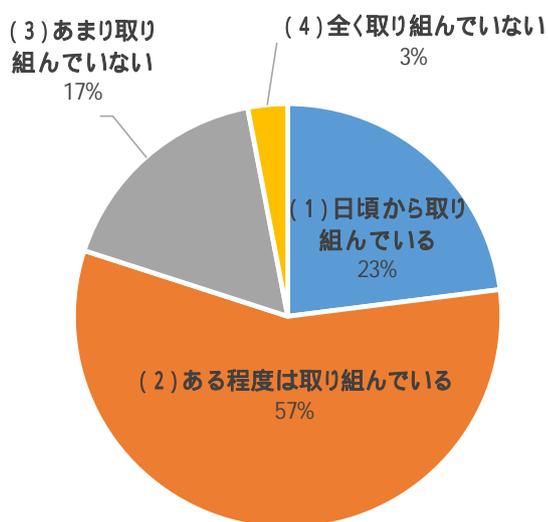


選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 節電・節水	195	64
(2) 環境に配慮した商品の購入(例: 詰替商品、簡易包装製品、省エネ製品など)	156	51
(3) クールビズ・ウォームビズ(夏場の軽装、冬場の厚着などによる空調負荷の低減など)	139	46
(4) 環境に配慮した食生活の実施(例: 食材の地産地消、エコ・クッキング、食べ残しをしない(食べきり)など)	139	46
(5) 住宅の断熱化(例: 二重窓や断熱材などを活用し無駄な熱の出入りを減らすなど)	94	31
(6) 太陽光発電・太陽熱の活用	124	41
(7) 環境に配慮した移動手段の選択(例: 公共交通機関の利用、エコドライブ、電気自動車の購入など)	124	41
(8) ごみの減量化・再利用・リサイクル(例: ごみの分別・堆肥化、紙パックや食品トレイの回収、マイバッグ持参、レジ袋の辞退など)	205	67
(9) 地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへの参加	40	13
(10) 地球温暖化対策に関連する活動への募金(例: 緑の募金、環境保全団体への寄付など)	18	6
(11) 関心がある取組がない	7	2
(12) その他(記述)	16	5

<(12) その他回答(一部要約)>

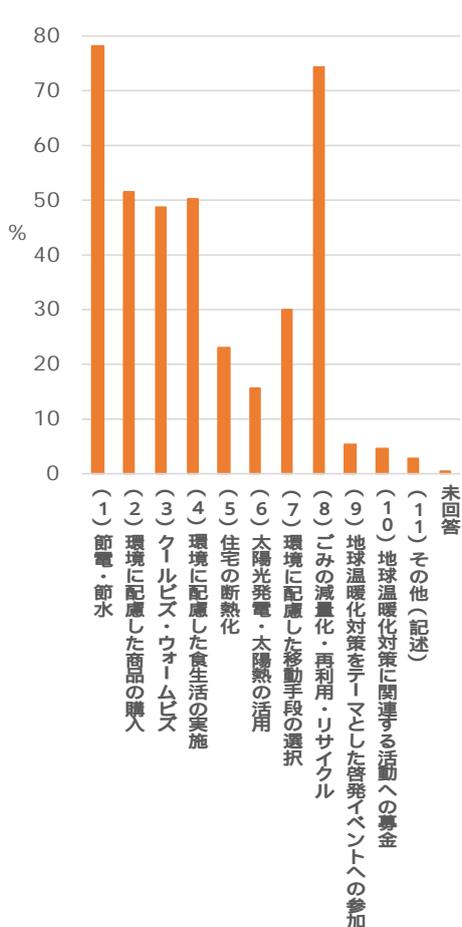
- ・電気を使用しないよう深夜営業の廃止
- ・動物食をやめる ・生態系の維持 ・植林、植木の植栽 ・自然環境保の保全
- ・国のエネルギー政策のクリーンエネルギーへの転換
- ・原子力発電の推進
- ・都市の緑地化、大規模森林火災対策、都市への人口集中、イルミネーションなどの工夫、雨水の再利用(砂漠化を防ぐ)
- ・ライフサイクル全般でのCO2削減、使い捨て商品を買わない、太陽光発電の廃棄までを含めたCO2削減効果の検証
- ・自給自足(野菜作りなど)、ミニマリストなどシンプルライフ、現実を伝えるセミナー
- ・環境配慮型農業(同農産物の積極購入を含む)の推進
- ・個人的な対策とともに、企業や国としての取組が必要(一例: クールビズ)

Q4. あなたは、現在、地球温暖化対策(家庭での節電活動、公共交通機関の利用、ごみの分別やリサイクル、環境イベントへの参加など)にどの程度取り組んでいますか。(1つ選択)



選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 日頃から取り組んでいる	70	23
(2) ある程度は取り組んでいる	174	57
(3) あまり取り組んでいない	53	17
(4) 全く取り組んでいない	8	3
合計	305	100

Q5. 質問4で(1)又は(2)を選択された方にお伺いします。あなたは、地球温暖化対策としてどのような取組をしていますか。(複数選択可)

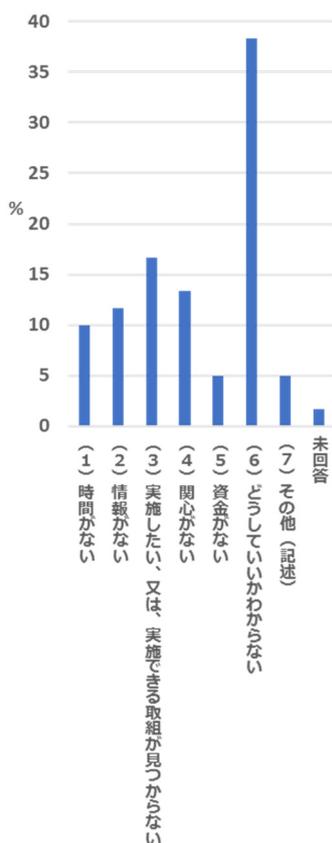


選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 節電・節水	191	78
(2) 環境に配慮した商品の購入(例: 詰替商品、簡易包装製品、省エネ製品など)	126	52
(3) クールビズ・ウォームビズ(夏場の軽装、冬場の厚着などによる空調負荷の低減など)	119	49
(4) 環境に配慮した食生活の実施(例: 食材の地産地消、エコ・クッキング、食べ残しをしない(食べきり)など)	123	50
(5) 住宅の断熱化(例: 二重窓や断熱材などを活用し無駄な熱の出入りを減らすなど)	56	23
(6) 太陽光発電・太陽熱の活用	38	16
(7) 環境に配慮した移動手段の選択(例: 公共交通機関の利用、エコドライブ、電気自動車の購入など)	73	30
(8) ごみの減量化・再利用・リサイクル(例: ごみの分別・堆肥化、紙パックや食品トレイの回収、マイバッグ持参、レジ袋の辞退など)	182	75
(9) 地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへの参加	13	5
(10) 地球温暖化対策に関連する活動への募金(例: 緑の募金、環境保全団体への寄付など)	11	5
(11) その他(記述)	7	3
未回答	1	0

<(11) その他回答(一部要約)>

- ・必要な物だけ、必要な分だけ購入
- ・植木の植栽
- ・小さくても家庭菜園
- ・環境に配慮した農業(除草剤使わない)の実施
- ・海岸清掃や目についたゴミを拾う
- ・正しい情報交換をSNSで交換
- ・過度なエアコン利用等の自粛、日よけ等の設置など
- ・肉食しない
- ・外国産の牛肉を買わない

Q6. 質問4で(3)又は(4)を選択された方にお伺いします。地球温暖化対策に取り組んでいない理由として最も当てはまるものを選んでください。(1つ選択)



選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 時間がない	6	10
(2) 情報がない	7	12
(3) 実施したい、又は、実施できる取組が見つからない	10	17
(4) 関心がない	8	13
(5) 資金がない	3	5
(6) どうしてもいいかわからない	23	38
(7) その他(記述)	3	5
未回答	1	2

<(7) その他理由(一部要約)>

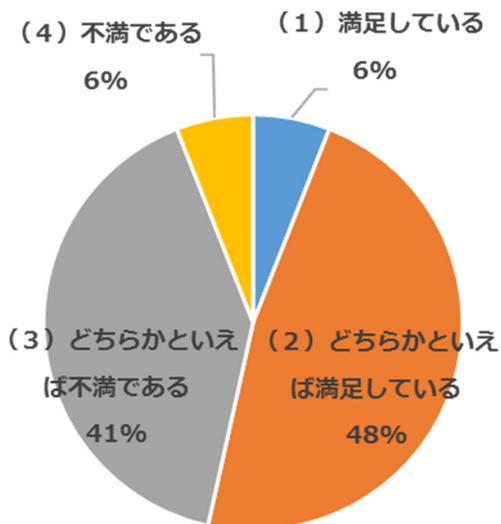
- ・そもそも温暖化しているとは思わない
- ・地域によっては、公共交通機関が皆無に等しいところがある
- ・ゴミの分別とiiつつ、ペットボトルも可燃ゴミに入れられる実態がある
- ・地球温暖化はどちらかというとい良いことなのに、なぜ対策するのかわからない。ただ個々の社会活動としては良いことが多いので、やっている活動もある。

Q7. あなたは、長崎県地球温暖化対策実行計画に掲げる8つの分野の施策に満足していますか。

(1つ選択)

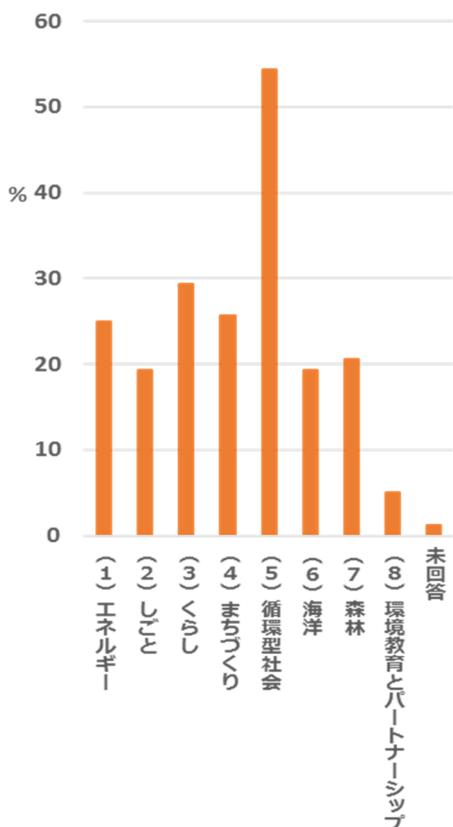
<補足説明>長崎県地球温暖化対策実行計画では、県、市町、事業者、住民、NPO、業界団体などの各主体がそれぞれの立場で、また、協働して、8つの分野の施策に取り組んでいます。

(8つの分野の施策： エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進) しごと(事業者の省エネ等の活動促進) 暮らし(県民の節電等の活動促進) まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など) 循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど) 海洋(藻場の維持・保全など) 森林(森林整備など) 環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)



選択肢	回答者数	割合 (%)
(1) 満足している	17	6
(2) どちらかといえば満足している	145	48
(3) どちらかといえば不満である	125	41
(4) 不満である	18	6
合計	305	101

Q8. Q7 で(1)又は(2)を選択された方にお伺いします。8つの分野の施策のうち、満足している又はどちらかといえば満足していると思うものは次のうちどれですか。(複数選択可)



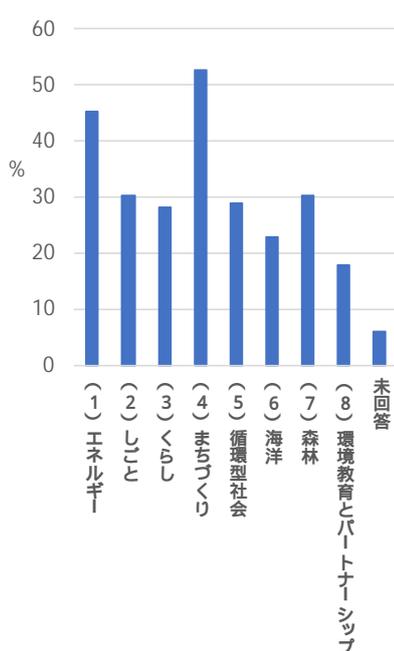
選択肢	回答数	割合 (%)
(1) エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)	40	25
(2) しごと(事業者の省エネ等の活動促進)	31	19
(3) 暮らし(県民の節電等の活動促進)	47	29
(4) まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)	41	26
(5) 循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)	87	54
(6) 海洋(藻場の維持・保全など)	31	19
(7) 森林(森林整備など)	33	21
(8) 環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)	8	5
未回答	2	1

Q9. Q7 で(1)又は(2)を選択された方にお伺いします。Q8 で選択された施策について、満足している又はどちらかといえば満足していると思う理由は何ですか。ご自由にご記入ください。(記述式)

<理由(一部抜粋、要約)>

- (1)エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)
  - ・五島などで海洋エネルギー(洋上風力発電など)の活用
  - ・住宅に太陽光発電設備が設置
  - ・小学校などの公共施設にソーラーパネルが設置
  - ・風力発電
- (2)しごと(事業者の省エネ等の活動促進)
  - ・クールビズの推奨
  - ・医療機関やスーパーなどでのエアコンの適温化(効きすぎていない)
  - ・二酸化炭素排出量の取引(J-クレジット制度)
- (3)くらし(県民の節電等の活動促進)
  - ・水タンクの補助制度
  - ・住宅への太陽光発電設備が設置
- (4)まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)
  - ・路面電車などエコな移動手段が充実
  - ・公共交通機関の利便増強を感じる
  - ・ノーマイカー通勤日が実施されている
  - ・地域コミュニティバスの運行
  - ・コンパクトシティへの努力
- (5)循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)
  - ・リサイクルやごみ削減を推進する取組をスーパーなどで見かける
  - ・生ゴミ処理機の補助
  - ・漂着ゴミの回収や日頃からのゴミ分別による海洋の保全維持
  - ・リサイクルに協力的
  - ・エコスパ(焼却施設の余熱利用型の温浴施設)の利用
  - ・地域でのリサイクル・資源回収活動
  - ・ゴミ袋の有料化
  - ・廃油の回収、再利用
- (6)海洋(藻場の維持・保全など)
  - ・海洋生物などの保全は地球温暖化対策だけでなく未来のためにもなる
  - ・大村湾の水質改善の取組み
- (7)森林(森林整備など)
  - ・間伐材が有効利用
  - ・県民の森が最適に維持されている
  - ・緑の募金、森林環境税
  - ・植樹
- (8)環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)
  - ・県の取組や電力会社でのエコライフ活動などが、広報誌、TV、新聞等で周知されている
  - ・イベントでの啓発
- (9)その他理由や意見
  - ・個人、事業者での取組み、環境保全への取組みなど、施策に網羅的に反映されている
  - ・取組が具体的
  - ・環境改善は意識改革のため、教育に力を入れるのが有効

Q10. Q7 で(3)又は(4)を選択された方にお伺いします。8つの分野の施策のうち、どちらかといえば不満である又は不満であると思うものは次のうちどれですか。(複数選択可)



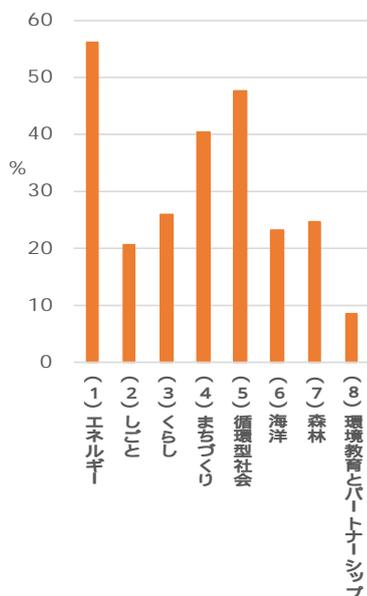
選択肢	回答数	割合 (%)
(1) エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)	61	45
(2) しごと(事業者の省エネ等の活動促進)	41	30
(3) くらし(県民の節電等の活動促進)	38	28
(4) まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)	71	53
(5) 循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)	39	29
(6) 海洋(藻場の維持・保全など)	31	23
(7) 森林(森林整備など)	41	30
(8) 環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)	24	18
未回答	8	6

Q11. 質問7で(3)又は(4)を選択された方にお伺いします。質問10で選択された施策について、どちらかといえば不満である又は不満であると思う理由は何ですか。また、どういった改善が必要と考えますか。ご自由にご記入ください。(記述式)

<理由(一部抜粋、要約)>

- (1)エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)
  - ・再生可能エネルギーの利用促進が進めば災害時の停電問題も改善
  - ・根本的な国のエネルギー政策転換がないと枝葉の取組では解決しない
  - ・火力発電等をやめていない
- (2)しごと(事業者の省エネ等の活動促進)
  - ・クールビズを年間通してやっていいと思う
  - ・家畜(牛、豚、鶏など)を減らし大豆生産などにシフト
  - ・省エネと仕事が結びついていない
  - ・環境に配慮した農業の推進や実施が不明
- (3)くらし(県民の節電等の活動促進)
  - ・節電の不便さへの代替取組が不十分で、苦勞を強いるだけになっている
- (4)まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)
  - ・公共交通機関を進める割に自動車専用道路などの建設が多い(車の利用が増え温室効果ガスの増加?)
  - ・巡回バスの充実化により、1人だけが1台の車を走らせる無駄を減らすべき
  - ・電車の本数を増やすべき
  - ・都市部以外では1人1台の車となっている環境に問題
  - ・交通渋滞の緩和と公共交通機関の充実化
  - ・地域バスの充実化(本数少ない、料金高い、採算性との折り合いなどの課題)
  - ・EV等の率先導入すべき
  - ・公共交通機関の利用増進を掲げるならば、首都圏と同様にバスの排ガス規制を行うべき
- (5)循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)
  - ・レジ袋の有料化が必要
  - ・飲食店で量の選択システム導入で食べ残しが減るのは
  - ・生ゴミ処理機の補助金を増やしてほしい
  - ・プラスチック類の完全廃止(瓶への転換)
  - ・一部自治体では、雑誌や包装紙など資源になるものも燃えるゴミとしている
  - ・廃油などの再利用が必要
  - ・個人以外の取組がないようなので、県全体でリサイクル推進、ごみ削減に取り組む
- (6)海洋(藻場の維持・保全など)
  - ・海砂採取(による海洋環境への影響)への懸念、藻場消失、海岸線の浸食など海洋環境の崩壊が心配
  - ・海の素晴らしさを知る機会を増やして
  - ・大村湾の環境改善
  - ・海洋吸収促進策の研究が必要
- (7)森林(森林整備など)
  - ・森の減少
  - ・森林関係の作業者の高齢化
  - ・森林増加や整備の取組が必要
  - ・里山の保全と活用
- (8)環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)
  - ・広報、イベント等での数字が見える形での啓発活動や、子供たちにわかり易い事例での理解促進が必要
  - ・将来を担う(温暖化問題に直面する)若い世代への問題意識の浸透が必要
- (9)その他理由、意見
  - ・施策効果が見えるようロジックモデルを活用し、PDCAサイクルをしっかりと機能させる必要があるのでは
  - ・取り組んでいる内容が一般県民に浸透していないと思う(CMや広報を多く活用してもいいのでは)
  - ・県民意識の改革にまで至っていない
  - ・情報量が少ないので行動しにくい

Q12. あなたが、8つの分野の施策のうち、今後、特に重要と考えるものは次のうちどれですか。(3つまで選択可)



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)	171	56
(2) しごと(事業者の省エネ等の活動促進)	63	21
(3) くらし(県民の節電等の活動促進)	79	26
(4) まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)	123	40
(5) 循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)	145	48
(6) 海洋(藻場の維持・保全など)	71	23
(7) 森林(森林整備など)	75	25
(8) 環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)	26	9

Q13. あなたは、8つの分野の施策以外に、今後、新たに必要となる施策は何だと思えますか。ご自由にご記入ください。(記述式)

< 意見(一部抜粋、要約) >

新たな施策 従来の施策

(1) エネルギー(再生可能エネルギーの利用促進)

根本的な国のエネルギー政策の転換(再生可能エネルギーへの転換)

安全な原子力エネルギーの活用 原発廃止 脱FIT型の再生可能エネルギー事業の促進支援

(2) しごと(事業者の省エネ等の活動促進)

働き方改革 温暖化対策に寄与する企業の取組み公表と販売等の後押し 休耕田畑の有効活用

職場で電気料金を下げることによるインセンティブの付与(ポイント券)

環境に配慮した農業、畜産の推進

(3) くらし(県民の節電等の活動促進)

住民の意識改革 少子・高齢化社会を踏まえた空き家団地の住環境の整理統合

家庭での雨水の有効活用 家庭で電気料金を下げることによるインセンティブの付与(ポイント券)(再掲)

肉食を減らしフェイクミートなどにシフト 町ぐるみでの節電の取組

(4) まちづくり(公共交通機関の利便増進、地域環境の整備など)

マイカーは必須(公共交通機関がない) 災害に備え電柱をすべて地中化

交差点の信号を廃止しラウンドアバウト式に 公共交通機関の確保(バス本数が減っている)

エコカー減税などの継続及び電気自動車(EV)の充電設備の拡充

移動手段としての車について、現状やライフスタイルの転換 循環バスをハイブリッドやEVへ転換

(5) 循環型社会(ごみ削減、リサイクルなど)

ゴミ対策と海の環境保全の連携 食品ロスの削減

(6) 海洋(藻場の維持・保全など)

ゴミ対策と海の環境保全の連携(再掲) 水資源の保全 河川の清掃 海洋吸収促進策

海洋県なので海を利用した施策にもっとスピードをあげて取り組むべき

大村湾への赤土(磯焼け原因)流入阻止、鉄分を含む土嚢袋の設置など

(7) 森林(森林整備など)

森林の大切さ(森が川を、川が海を創るとの自然の循環)を意識した施策の実施

(8) 環境教育とパートナーシップ(環境教育の推進、関係者による協働や連携)

パートナーシップよりも、環境教育が最も重要と思う 地域コミュニティの維持と教育

学校教育で温暖化の現実を教える

その他

8つの分野の連携

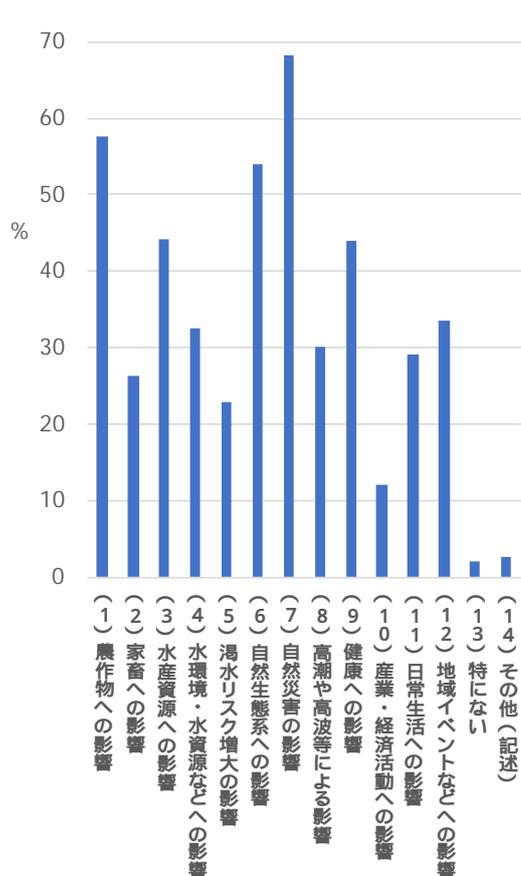
災害時などの地域の対応方法や保存食などの心構えなど 高齢者への防災対策の強化

たくさん挙げても実行できなければ意味がないので、今挙げている8つの施策からしっかり取り組んでいく

ほかに、

- ・1地域、1国だけでは、満足な成果は困難
- ・地球温暖化のメリットとリスクを冷静に判断しなければいけない

Q14. あなたは、将来的な地球温暖化の影響（気候変動影響）として、どのようなことに不安を感じますか。次のうちから選んでください。（複数選択可）



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 農作物の収穫量や品質低下への影響	176	58
(2) 家畜（鶏・豚・牛など）の生産性への影響	80	26
(3) 水産資源への影響	135	44
(4) 水環境・水資源などの環境水質や水道水質への影響（悪化）	99	32
(5) 渇水リスク増大の影響	70	23
(6) 自然生態系（動植物の生息地の変化や絶滅など）への影響	165	54
(7) 大雨の回数や頻度が増大することによる自然災害（水害、土砂災害など）の影響	208	68
(8) 高潮や高波等による影響	92	30
(9) 熱中症や蚊媒感染症による健康への影響	134	44
(10) 活動拠点や生産拠点などの被災による産業・経済活動への影響	37	12
(11) 停電、断水、公共交通機関の停止など、日常生活への影響	89	29
(12) 異常気象の頻発化、サクラの開花時期の早期化、紅（黄）葉時期の遅延化などによる、地域イベントなどへの影響	102	33
(13) 特になし	6	2
(14) その他（記述）	8	3

< (14) その他回答（一部要約） >

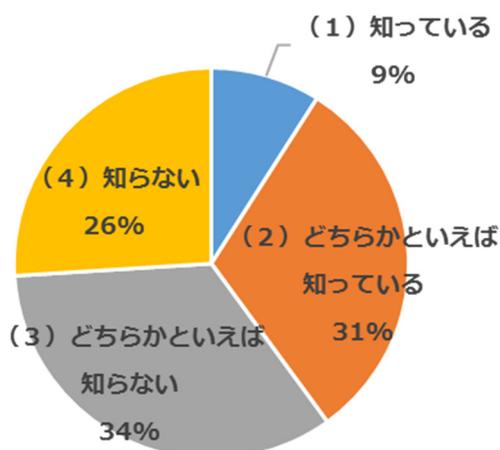
- ・ 漠然とした不安 ・ 地球が人間に壊され、子孫が住めなくなる
- ・ 沈没する国が出てくる ・ 気温上昇で昼夜逆転の生活を余儀なくされる
- ・ 温暖気候が熱帯気候になり雨期、乾期の出現で、大洪水と大干ばつが起こるかも
- ・ 季節感がなくなり、インフルエンザなど、特定の季節に流行する病気が年中流行るかもしれない
- ・ CO2 濃度が高まれば農作物は増収になるが、いけないことなのか

Q15. あなたは、気候変動影響への適応策を知っていますか（1つ選択）

< 補足説明 > 地球温暖化をもたらす温室効果ガスを削減するための対策（緩和策）に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を予防・軽減するための対策のことを「適応策」といいます。

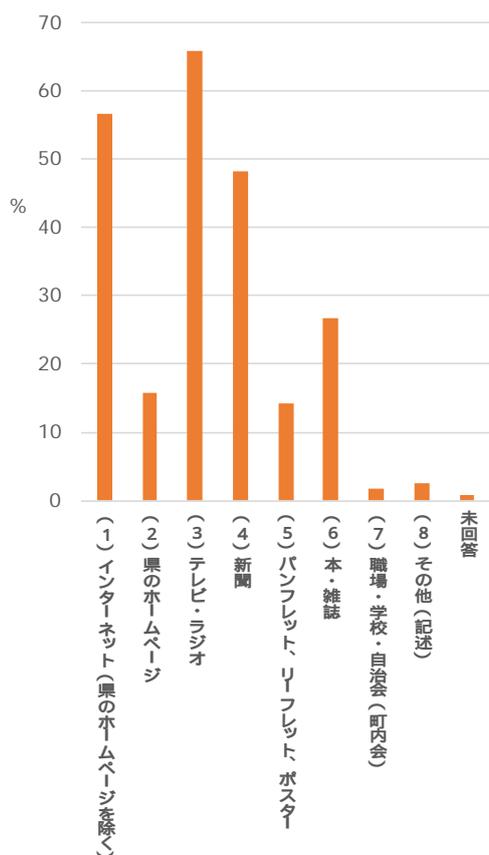
例えば、高温に強い作物や品種への変更、節水・雨水利用、災害時の備え、治水対策、熱中症対策などがあります。

緩和策と適応策は車の両輪に例えられるように、どちらも必要な取組です。



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 知っている	27	9
(2) どちらかといえば知っている	94	31
(3) どちらかといえば知らない	105	34
(4) 知らない	79	26
合計	305	100

Q16. 質問 15 で(1)又は(2)を選択された方にお伺いします。気候変動影響への適応策に関する情報を入手する際の媒体は何ですか。(複数選択可)

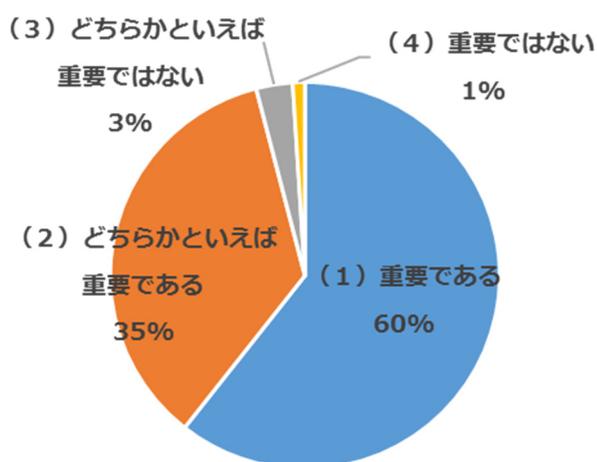


選択肢	回答数	割合 (%)
(1) インターネット(県のホームページを除く)	68	57
(2) 県のホームページ	19	16
(3) テレビ・ラジオ	79	66
(4) 新聞	58	48
(5) パンフレット、リーフレット、ポスター	17	14
(6) 本・雑誌	32	27
(7) 職場・学校・自治会(町内会)	2	2
(8) その他(記述)	3	3
未回答	1	1

<(8) その他回答>

- ・スーパーマーケット等の商品
- ・活動している人の SNS や You Tube

Q17. あなたは、気候変動影響への適応策について、どれくらい重要と考えますか。(1つ選択)

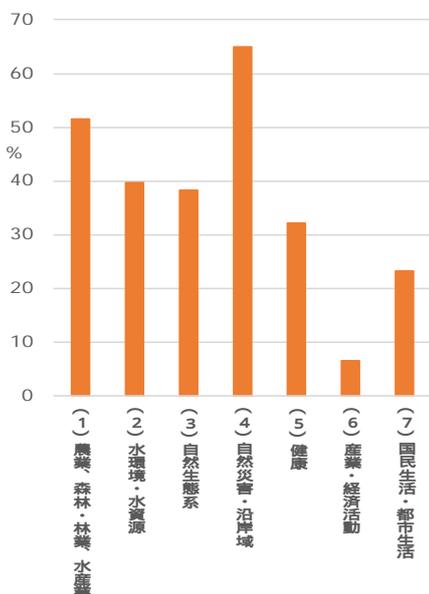


選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 重要である	184	60
(2) どちらかといえば重要である	108	35
(3) どちらかといえば重要ではない	9	3
(4) 重要ではない	4	1
合計	305	99

Q18. あなたが、7つの分野のうち、特に重要と考える取組は次のうちどれですか。(3つまで選択可)

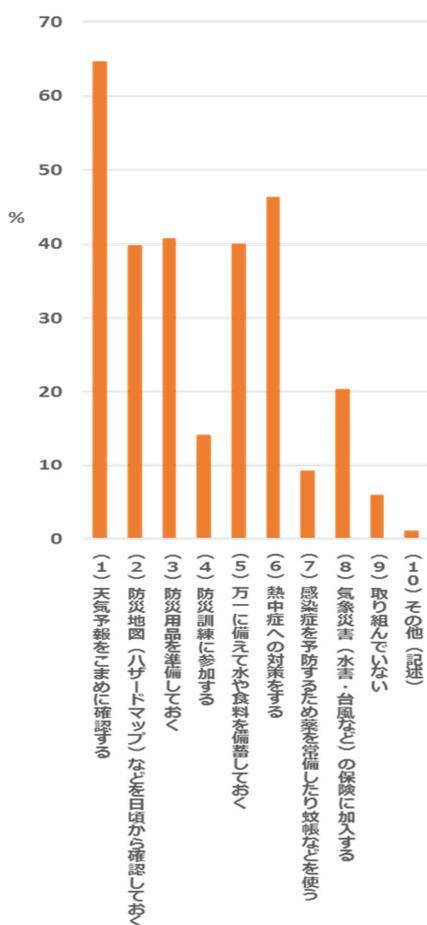
<補足説明> 県では、長崎県地球温暖化(気候変動)適応策を取りまとめ、以下の7つの分野の施策に取り組んでいます。

(7つの分野の施策： 農業、森林・林業、水産業、 水環境・水資源、 自然生態系、 自然災害・沿岸域、 健康、 産業・経済活動、 国民生活・都市生活)



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 農業、森林・林業、水産業(高温に強い作物や品種への変更、磯焼けへの対応など)	157	51
(2) 水環境・水資源(水質モニタリング、節水・雨水利用など)	121	40
(3) 自然生態系(生態系の保全・再生、外来種対策など)	117	38
(4) 自然災害・沿岸域(災害時の備え、治水対策、高潮・高波対策など)	198	65
(5) 健康(熱中症対策、感染症の動向把握、注意喚起など)	98	32
(6) 産業・経済活動(災害時における観光客の安全確保)	20	7
(7) 国民生活・都市生活(ライフライン対策、住宅・建築物の省エネルギー化など)	71	23

Q19. 適応策として個人で取り組めるものとして、以下のような取組みがあげられます。この中で、あなたが日頃から取り組んでいるものはありますか。取り組んでいるものをすべてあげてください。(複数選択可)



選択肢	回答数	割合 (%)
(1) 天気予報をこまめに確認する	197	65
(2) 防災地図(ハザードマップ)などを日頃から確認しておく	121	40
(3) 防災用品を準備しておく	124	41
(4) 防災訓練に参加する	43	14
(5) 万一に備えて水や食料を備蓄しておく	122	40
(6) 熱中症への対策をする	141	46
(7) 感染症を予防するため薬を常備したり蚊帳などを使う	28	9
(8) 気象災害(水害・台風など)の保険に加入する	62	20
(9) 取り組んでいない	18	6
(10) その他(記述)	3	1

<(19) その他回答(一部要約)>

- ・ミートフリーマンデー(週1回でも肉食の日をなくす、世界規模の取組)を広める
- ・サバイバルと自給自足の勉強
- ・適応策の問題というより、市町村が具体的に、地域にあった提言を行うべき

**Q.20 気候変動影響への適応策に関して、県の施策として求めるものは何ですか。ご自由にご記入ください。(記述式)**

<意見(一部要約)>

- (1)農業、森林・林業、水産業(高温に強い作物や品種への変更、磯焼けへの対応など)
  - ・水産県として水産資源に与える影響対策
  - ・森林保護
  - ・林業の振興
  - ・環境に配慮した農業、畜産、水産業への継続的な対策
- (2)水環境・水資源(水質モニタリング、節水・雨水利用など)
  - ・家庭で雨水を有効利用できる取組み
  - ・大村湾への赤土(磯焼け原因)流入阻止、鉄分を含む土嚢袋の設置など
- (3)自然生態系(生態系の保全・再生、外来種対策など)
  - ・自然環境保護(自然と共存できる環境)に、もっと力を入れてもらいたい
- (4)自然災害・沿岸域(災害時の備え、治水対策、高潮・高波対策など)
  - ・特に災害可能性の大きい土地への住居制限
  - ・災害時の安全とライフラインの確保
  - ・防災基本計画に基づく訓練の繰り返し
  - ・災害時の情報伝達方法の充実化
  - ・素早い対応(誘導)
  - ・避難場所の快適性の向上
  - ・防災グッズの入手情報の提供(どこで買えるか、どれが便利か)
  - ・台風15号での倒木被害を踏まえ日頃からの管理
  - ・河川の機能保持(草刈、浚渫など)
  - ・沿岸域への対策強化
  - ・新県庁舎の高潮・高波対策は大丈夫か
  - ・防災教育(防災意識の啓発)と備蓄など
- (5)健康(熱中症対策、感染症の動向把握、注意喚起など)
  - ・屋外行事の屋内実施など、熱中症対策
  - ・インバウンドに伴う感染症対策
- (6)産業・経済活動(災害時における観光客の安全確保)
  - ・潮位差を活用した発電(原発に頼らない)
- (7)国民生活・都市生活(ライフライン対策、住宅・建築物の省エネルギー化など)
  - ・高齢者にやさしいまちづくり

その他(全般的なもの)

**【周知、啓発、教育など】**

- ・各世代を対象とした生涯学習(自発的な行動へ)
- ・家族形態や世代別での普及啓発
- ・個人でできること、県で取り組んでいることの情報発信
- ・具体例を示し率先して取り組んでほしい
- ・学校教育や自治会、企業等を通じた情報発信、周知
- ・幼少時からの「必要性」の教育
- ・周知(幅広くこまめな県民教育) 注意喚起
- ・住民が実践して効果を実感できる施策
- ・わかりやすく、行動につながる情報発信の工夫
- ・適応策の取組み成果の公表

**【地域力の向上など】**

- ・自治会などへの地域中高生の参加(地域底力アップ)
- ・節電対策、環境にやさしい車への補助金
- ・地産地消が輸送エネルギーを消費せず地球温暖化対策につながることをもっと宣伝すべき

**【関係者の連携強化】**

- ・市町と地域住民との連携状況等を管理監督

**【取組みの支援】**

- ・住民が実践して効果を実感できる施策(再掲)
- ・適応策の技術開発の支援
- ・観測所のこまめな配置

ほかに、

- ・公共事業の見直し
- ・公共道路、歩道、橋梁の環境負荷低減
- ・地球温暖化のメリットとリスクを冷静に判断しなければいけない

- ・アメリカ追従型の日本政府の意識改革

**今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。**